

サッカーを通して観る日本・ アメリカ・メキシコの文化と 社会

フリオ・テジェス

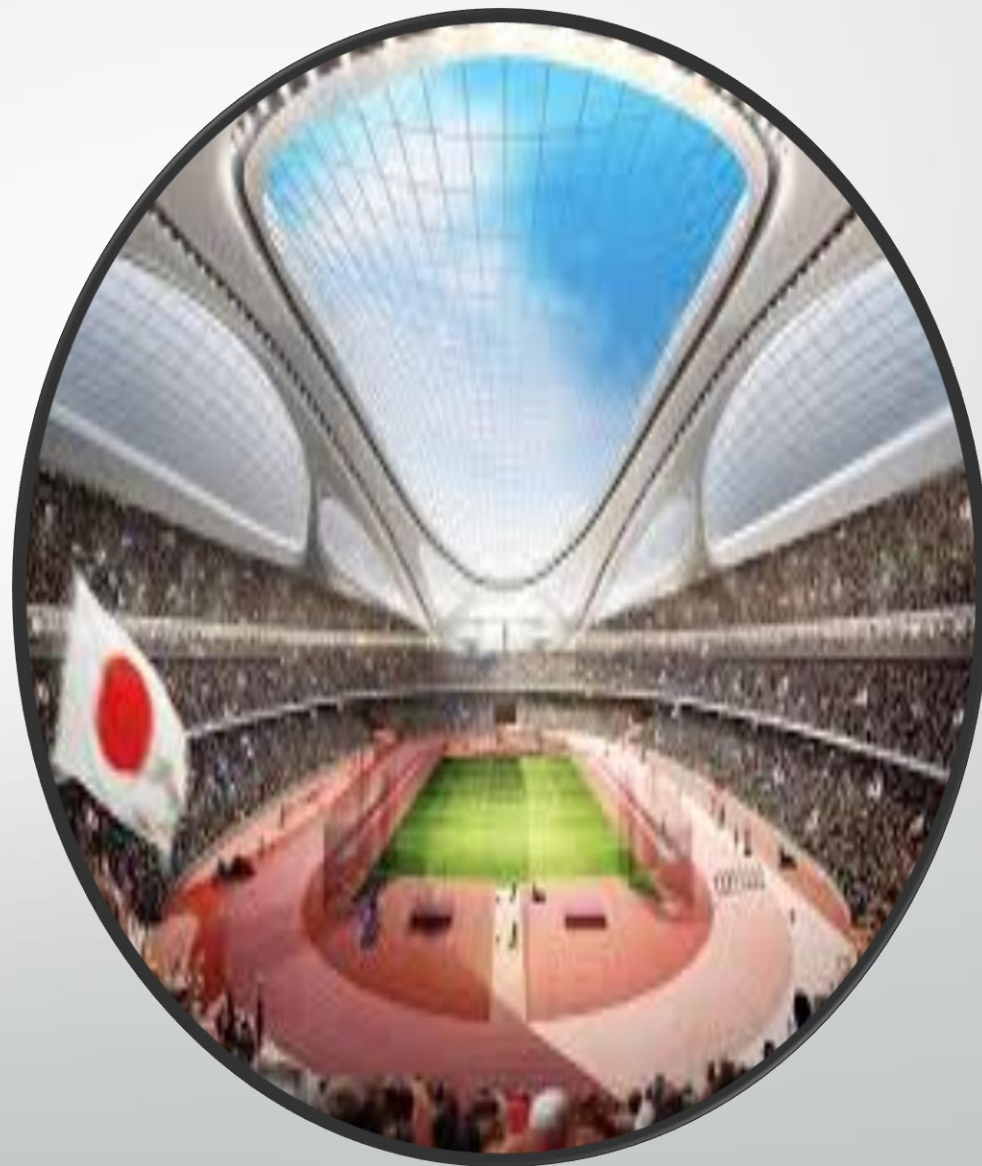
アドバイザー:

齋藤-アボット佳子教授

関根繁子教授

概要

- 研究の重要性
- 研究質問
- 研究背景
- 研究方法
- 研究結果
- 結論
- 参考文献
- 感謝の意



研究の重要性

- 自分は幼い頃から、サッカーを練習している
- 世界の中でもサッカーは非常に人気があるスポーツで、なぜサッカーがそんな人気になったか知りたいと思った。
- 留学した時から、サッカーと社会の影響に興味があった。日本人のサッカーとメキシコ人のサッカーに対する考え方が違うと思った。
- この研究を通して、3つの国の文化が人々の考え方にどのくらい影響を与えているかということを追っていたと思った。また、サッカーに対する人々（大学生）の意識も理解できたらと思った。

研究質問

- サッカーはどのように3か国の若者に影響を与えているのか。
- サッカーの人気にはどのような要因があるのか、またそれは3か国間でどのように違うのか。



研究背景



- サッカーの歴史
 - 日本
 - メキシコ
 - アメリカ
- 社会と文化の影響
 - ナショナリズムと愛国心
 - サッカーと教育
 - 様々な問題点
- サッカーと男女の役割
 - 男子のためのスポーツ、サッカー
 - 女子の役割

サッカーの歴史

● 日本

- 1965年、日本サッカーリーグ（JSL）が創設された
- 1980年女子リーグが開始
- 1993年Jリーグが始まった

● メキシコ

- メキシコのサッカーの起源(1902)
- 2007年にスーパーリーグが始まった(女子)
- リーガMXが開幕した

● アメリカ

- 1884年アメリカフットボール協会創設
- 女子サッカーの国内リーグが開幕(2013)
- MLSの開始(1996)

社会と文化の影響

- サッカーや教育

「...スポーツは何が可能であるかを明らかにしました。期待が高くある時に、フィールドでアメリカの子供たちは自分のパフォーマンスに通して、彼らはそれに彼らの心を置くとき、彼らが行うことが出来るどれだけ示しています。」
(Kolbert, 2013)

アメリカでは、サッカーチームは28選手の平均名簿サイズが、チームごとの賞に9.9運動奨学金の最大値のみを持っている。
(scholarshipstats.com)

- メキシコの女子選手が「この暴力的な時代に、スポーツは人生で成功するために子供や若者に夢をあたえている」と言った。
(Pereztrejo, 2014)

社会と文化の影響

- 様々な問題点

- メキシコで暴力について「フィールドを建設するとプロモーターが約束しました。やっと平和が来ます。ギャングの若者は銃弾の代わりにボールを使います。」 (Althaus, 2011)

アメリカでは、「暴力は、私達の社会でも、スタジアムでも、絶対に認められない」 (Goff, 2008)

- 日本では、人種差別ほどJリーグのチェアマンが『スタジアムと社会はつながっている。差別は絶対に許さないというメッセージを社会に発信する契機ととらえ、JリーグはFIFAなどにならい、「ノートレランス（非寛容）」の精神で臨むべきだろう。』と強調した。 (Mainichi Shimbun PR, 2014)

社会と文化の影響

- ナショナリズムと愛国心

「日本の教育者は、運動の国家値を認めた、また、スポーツを通して、必要な団結心を作り、近代日本のため。」 (Yasaki, 2003)

「ナショナリズムはこのゲームに行く理由だ、サッカーやホッケーや体操のない特定の愛が本当の理由ではない。それらは私達の息子だ。それらは私達の娘だ。私たちは気に理由です。」 (Brennan, 2014)

- 「スポーツは、多くの異なる方法で、個人・グループ・全国なアイデンティティを作るための、ツールです。」 (Sasada, 2006)

サッカーと男女の役割

- 女子サッカーの登場と開発

- 1895年、最初の女子チームの試合「ボールを蹴る女子は見苦しくない、特に、作るスカートを脱いだ後で。」 (FIFA.com)
- 「ゲームを売るためには、私達が裸で走る必要ない、しかし、ファンたちが私達の考えていることは良いと思う。屈辱的なことではない。」 (Longman, 2001)
- メキシコの女子選手が「私たちを見て、私たちを責めて、人々はサッカーが男子のためのスポーツだと思います」と言った (Reinares, 2011)



研究方法

- アンケートの回答者
 - 65人の大学生
 - 22人の日本人大学生
 - 14人の男子学生 / 8人の女子学生
 - 20 アメリカ人大学生
 - 12 人の男子学生 / 8 人の女子学生
 - 23 メキシコ人大学生
 - 16 人の男子学生 / 7 人の女子学生
 - 研究調査
 - オンラインによるアンケート(英語、日本語、スペイン語)

研究結果 1

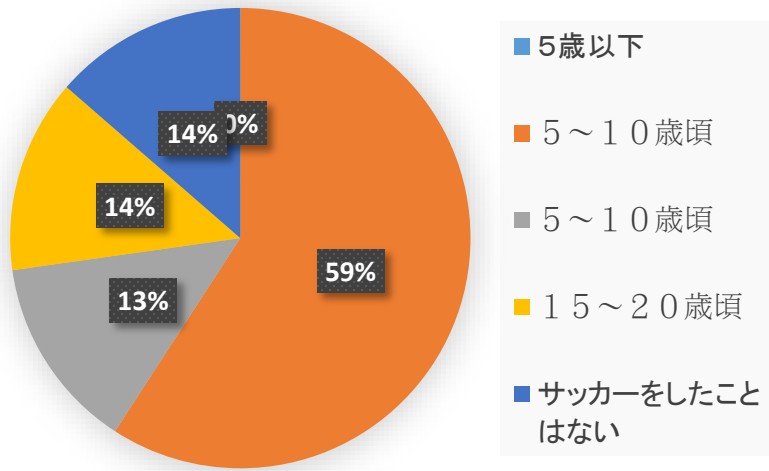
研究質問 1

サッカーはどのように3か国の若者に影響を与えているのか。

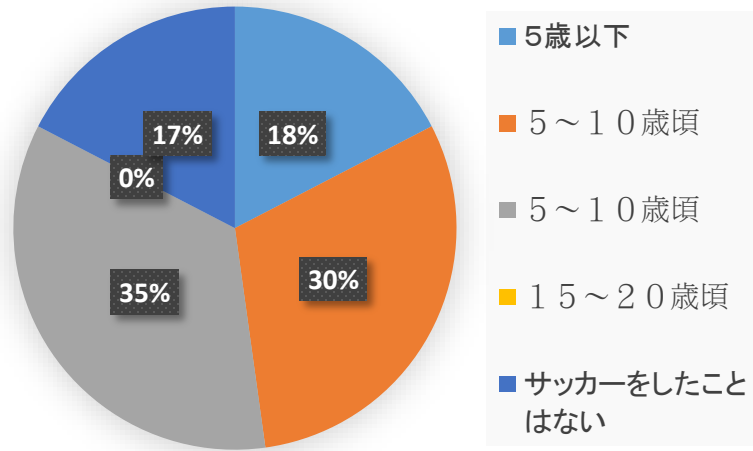
サッカーの経験

あなたは、いつ頃からサッカーを練習し始めましたか。

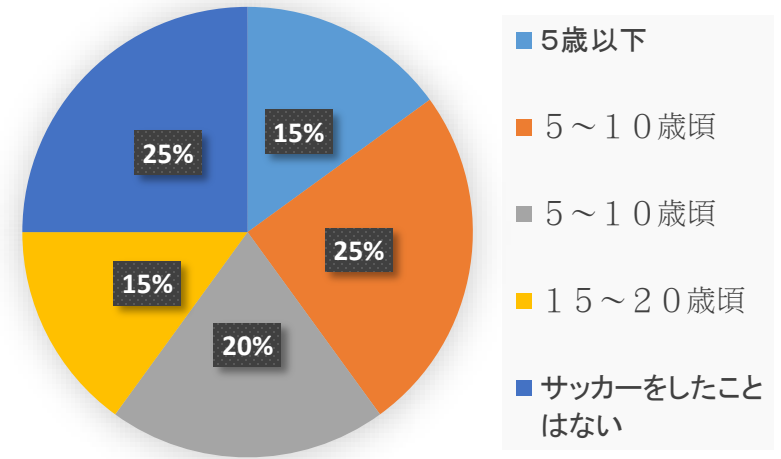
日本人



メキシコ人



アメリカ人

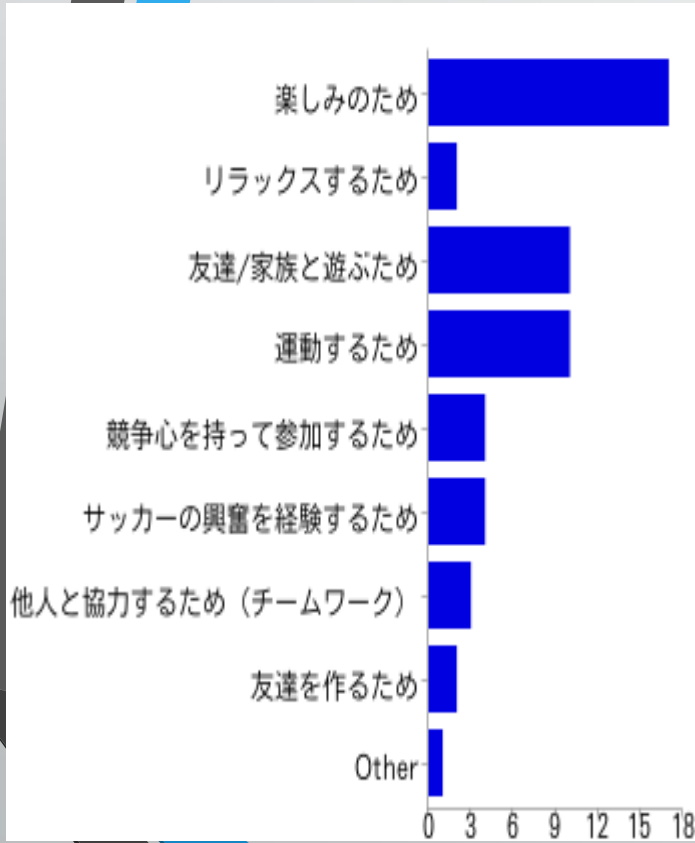


メキシコとアメリカでは、人々が早めにサッカーに参加している。一方で日本人は5歳の後にサッカーを練習し始めました。

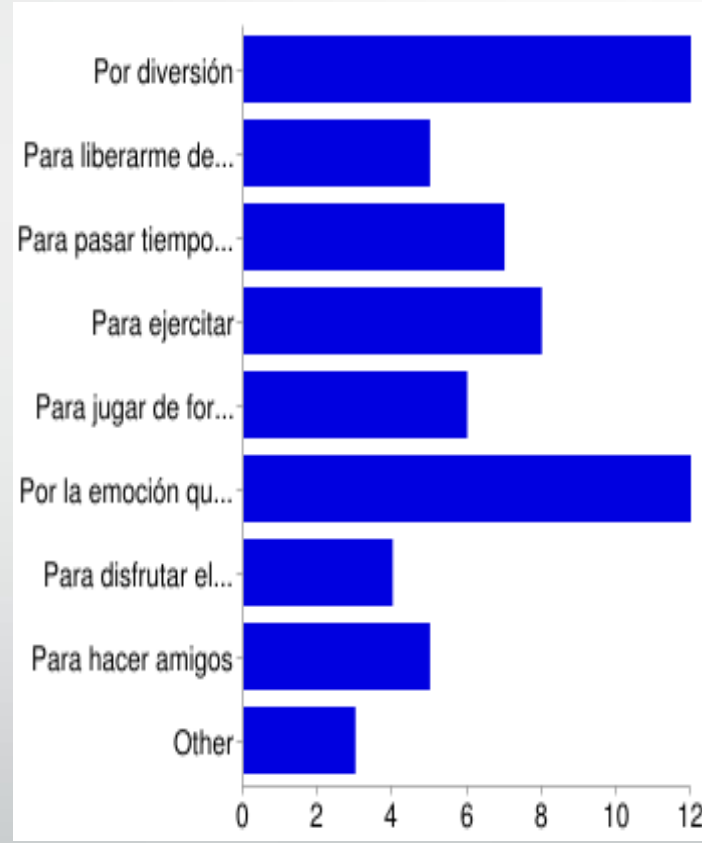
サッカーをする理由

どうしてサッカーをしますか、またはサッカーが好きですか。次のリストから理由を選んでください。

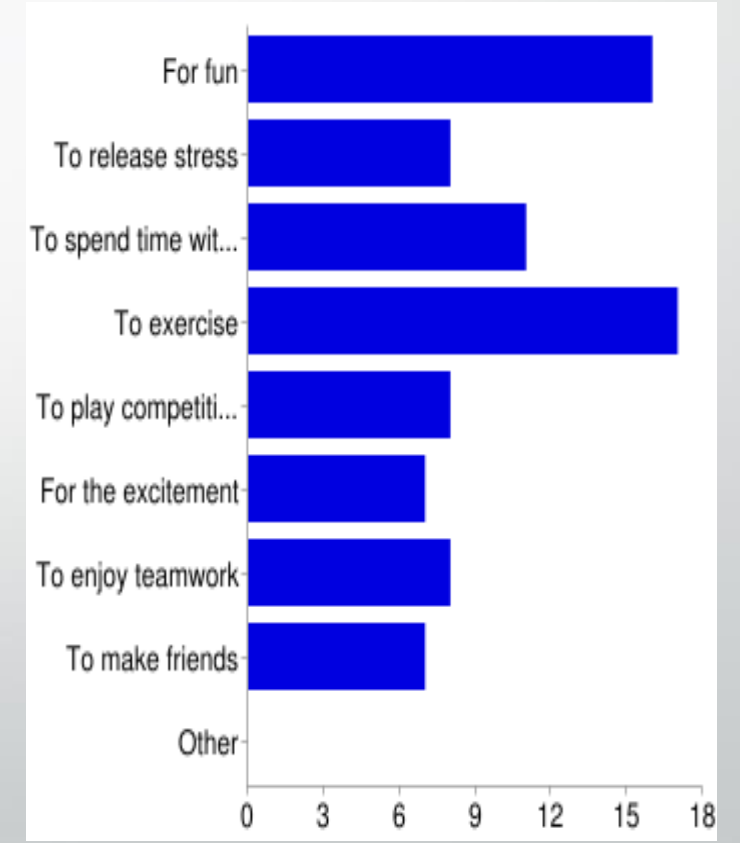
日本



メキシコ



アメリカ

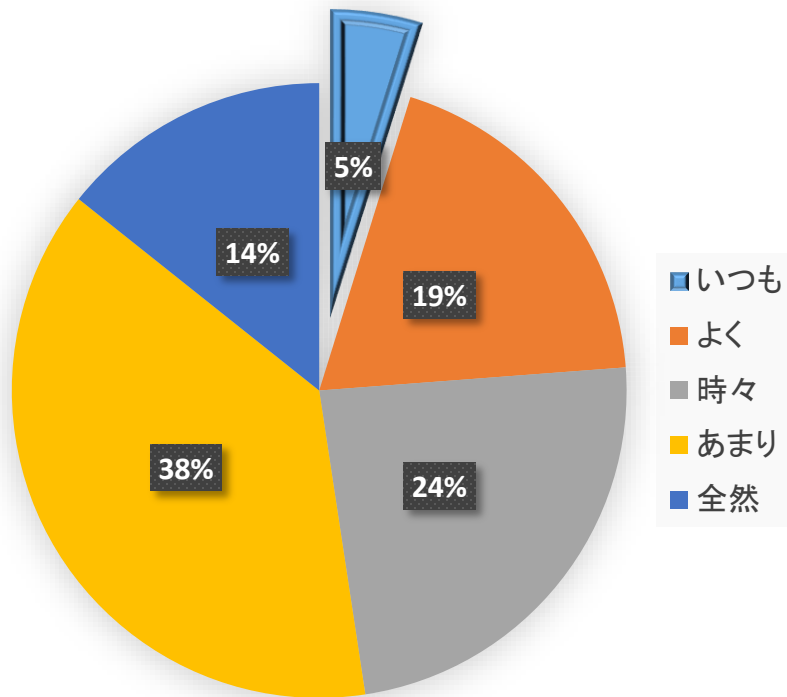


一般的に楽しみのためにサッカーをすると答えた回答者が多かったが、メキシコ人はサッカーの興奮を経験したい、アメリカ人は良いエクササイズとして捉（とら）えている。

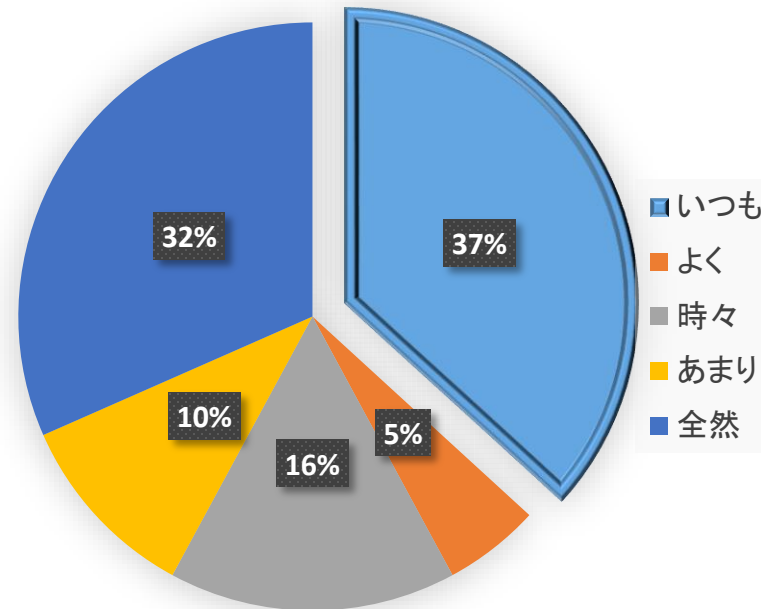
親の影響

お父さんとお母さんにサッカーを見る事／する事に影響を与えられましたか。もしそうなら、どのくらいの割合で影響されましたか。（お父さん）

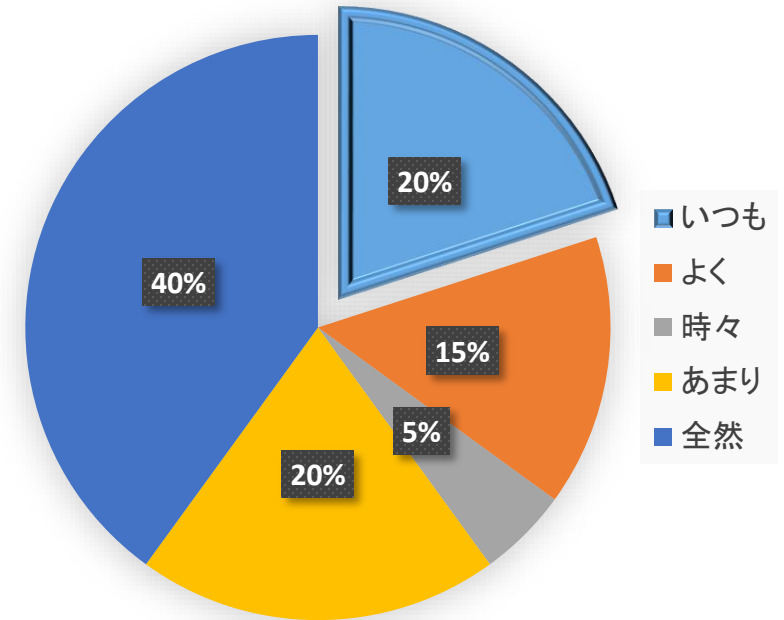
日本



メキシコ



アメリカ

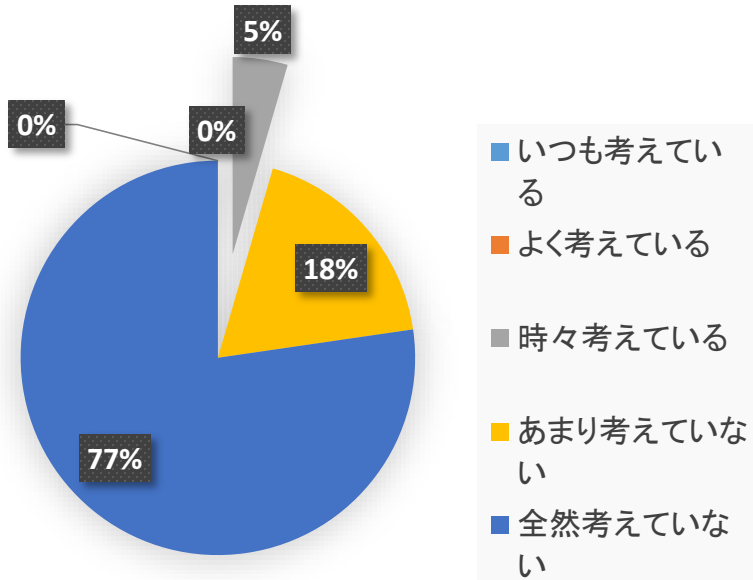


メキシコ人は父親に深く影響を与えられた。一方、日本人とアメリカ人はあまり父親の影響がないようだ。

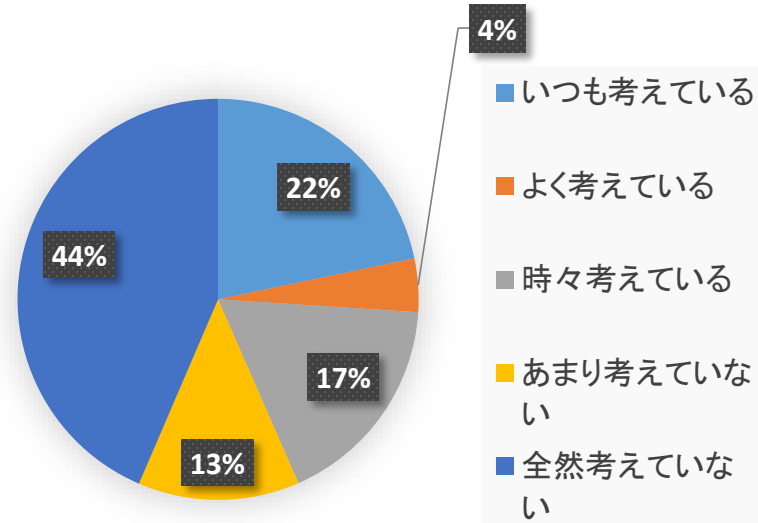
プロ選手になること

プロ選手になりたいと考えたことがありますか。

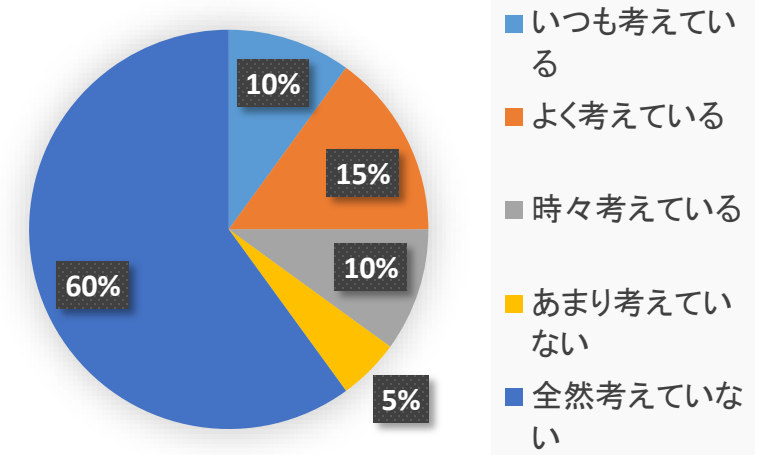
日本



メキシコ



アメリカ



日本人は、プロになる事に興味がないように思われる。しかし、メキシコ人の43%とアメリカ人の35%はプロになることを考えた事がある。

プロになる理由

あなたがもしサッカーのプロ選手になるとするならば、主な理由は何でしょうか。

選択	日本	メキシコ	アメリカ
お金持ちになるため	10%	16.7%	18.2%
旅行するため	0%	5.6%	9.1%
サッカーが好きだから	60%	55.6%	63.6%
楽しみのため	20%	11.1%	0%
有名になるため	10%	11.1%	9.1%
その他	0%	0%	0%

アンケート調査の結果に、大部分の回答者がサッカーのプロ選手になる主なモチベーションは「サッカーが好きだから」と答えた。

プロになる要素（ようそ）

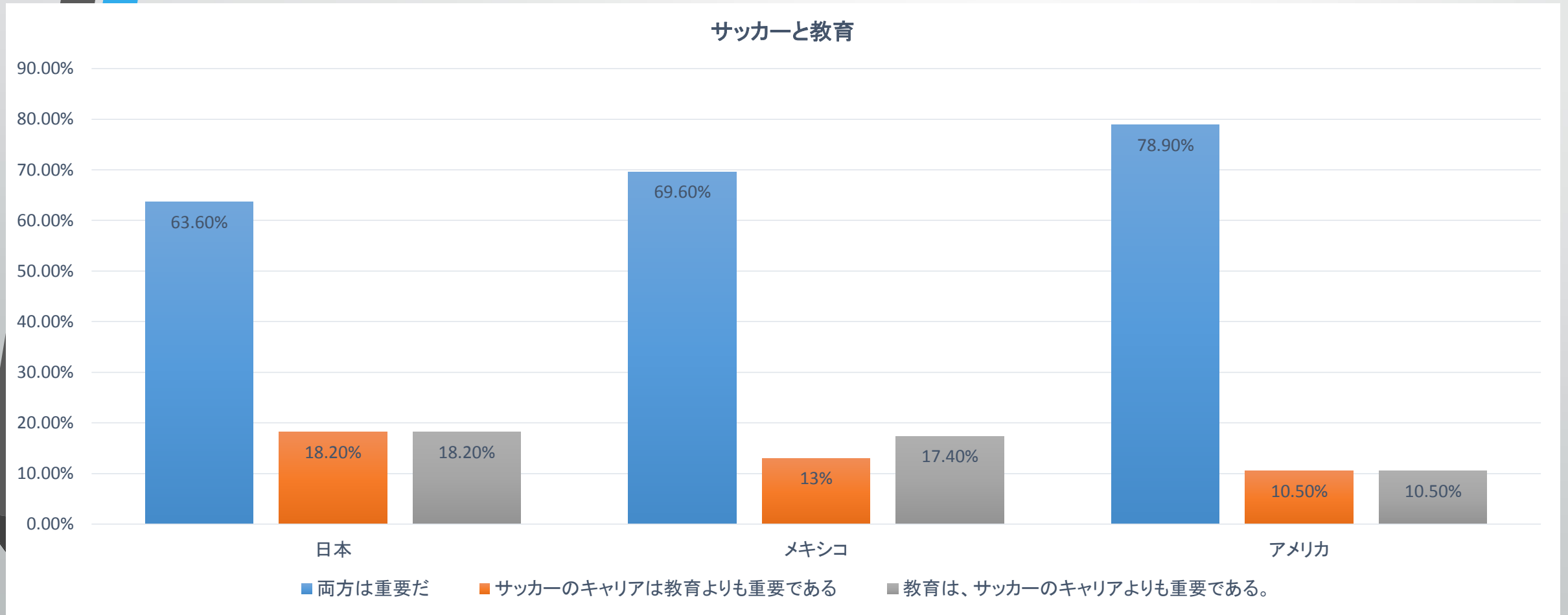
プロのサッカー選手に成るためには、何が一番重要だと思いますか。

選択	日本	メキシコ	アメリカ
才能	40.9%	34.8%	36.8%
決断力	13.6%	4.3%	10.5%
自制心	4.5%	4.3%	15.8%
お金	0%	17.4%	21.1%
コネ	0%	39.1%	15.8%
その他	40.9%	0%	0%

「才能」と答えた人が多かったが、メキシコ人は「コネ」を答えた人が最も多かった。

サッカーと教育

「私の住んでいる地域では、サッカー選手は教育と運動競技の両方を重んじる。」

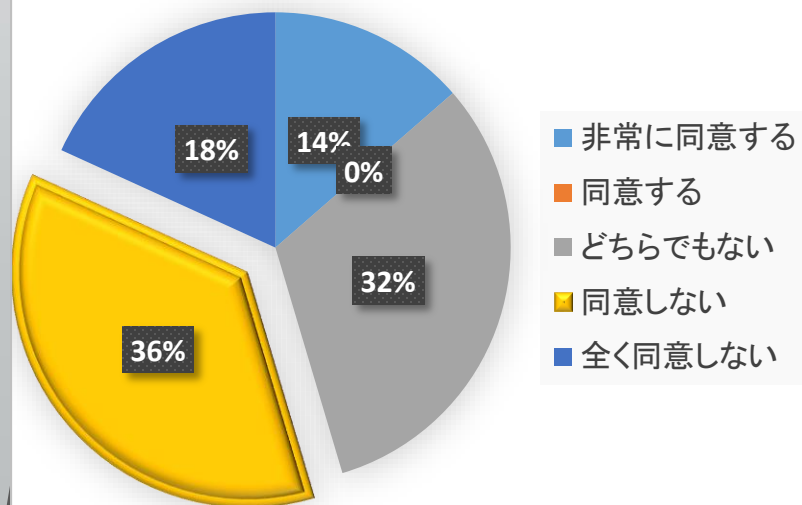


3つの国では、大部分が「両方は重要だ」と答えた、つまりサッカーのキャリアも教育も大切だ。

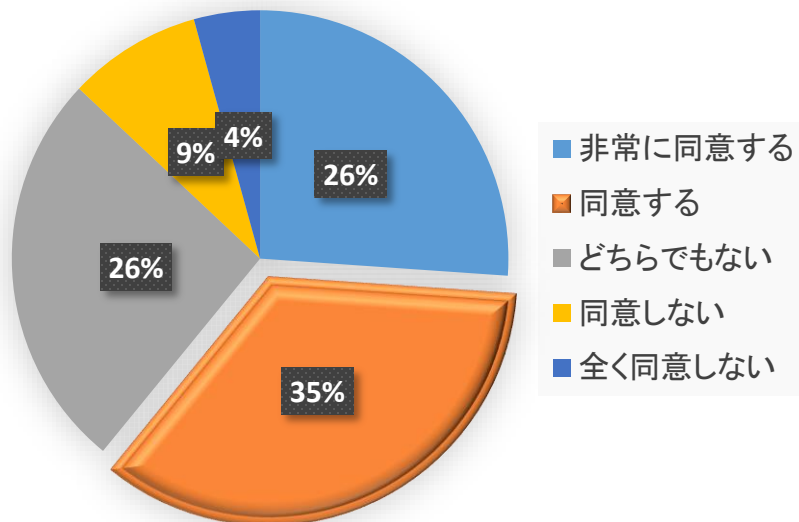
コミュニティとサッカー

「わたしがいる社会では、サッカーはドラッグなど悪いものに関わらないように使われる」

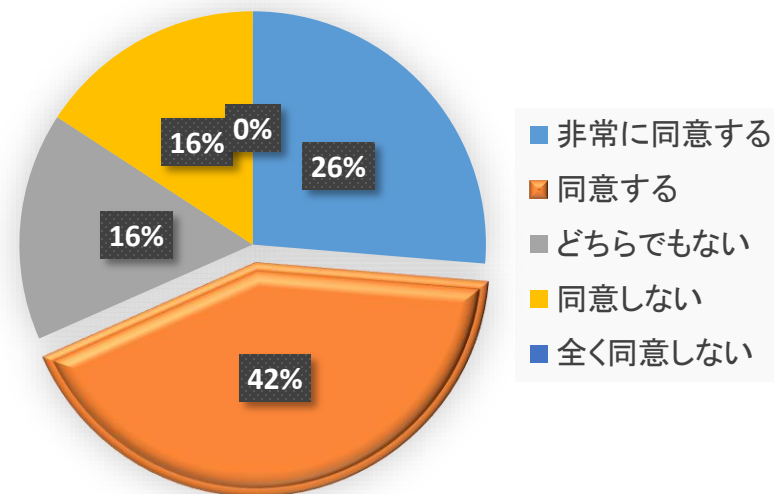
日本



メキシコ



アメリカ



メキシコ人の61%とアメリカ人の68%が、サッカーはドラッグなどに関わらない為がいいと答えたが、日本人でその意見に賛成したのはたったの14%だった。

3つの国でのサッカーの位置づけ

あなたの国では、サッカーは下記のどのように理解されていますか。
トップ3をランク付けてください

サッカーは。。。	日本	メキシコ	アメリカ
ビジネス	#3	#1	
フェアプレー	#1		
集団主義			
ショー	#2	#2	#3
マフィア			
自己満足			#1
名声		#3	#2

日本人にとってサッカーは「フェアプレー」であり、アメリカ人にとっては「自己満足」そしてメキシコの参加者にとっては「ビジネス」を表す、という非常に違う結果がでた。

研究質問 1 まとめ

- アメリカとメキシコでは、子供たちが早めにスポーツと接触するように励んでいる。
- 3つの国の社会では、人々が楽しみのためにサッカーをする。
 - ・ アメリカ人にとってサッカーは良い運動として考えられている。
- 3つの国の社会では、両親の影響が変動する。
 - ・ お母さんの影響が弱いように見える。
 - ・ メキシコ人の決定は父親に深く影響を与えられた。逆に、日本とアメリカの人々の決定は自分自身。
- プロ選手になるためには、「才能」が重要だというのが一般的な意見だったが、メキシコ人の大部分にとって「コネ」が最も大切だとわかった。
- アメリカもメキシコもサッカーを始める時期は非常に早い。
- 日本では、参加者の大部分がサッカーを悪いことに走らないように利用するとは思っていない。
- サッカーは日本ではフェアプレー、アメリカでは自己満足、メキシコではビジネスと位置づけられている。

研究結果 2

研究質問 2

サッカーの人気にはどのような要因があるのか、またそれは3か国間でどのように違うのか。

国内のチーム対海外のチーム

国際チームと国内チームでは、どちらの方が好きですか。それはどうしてですか。

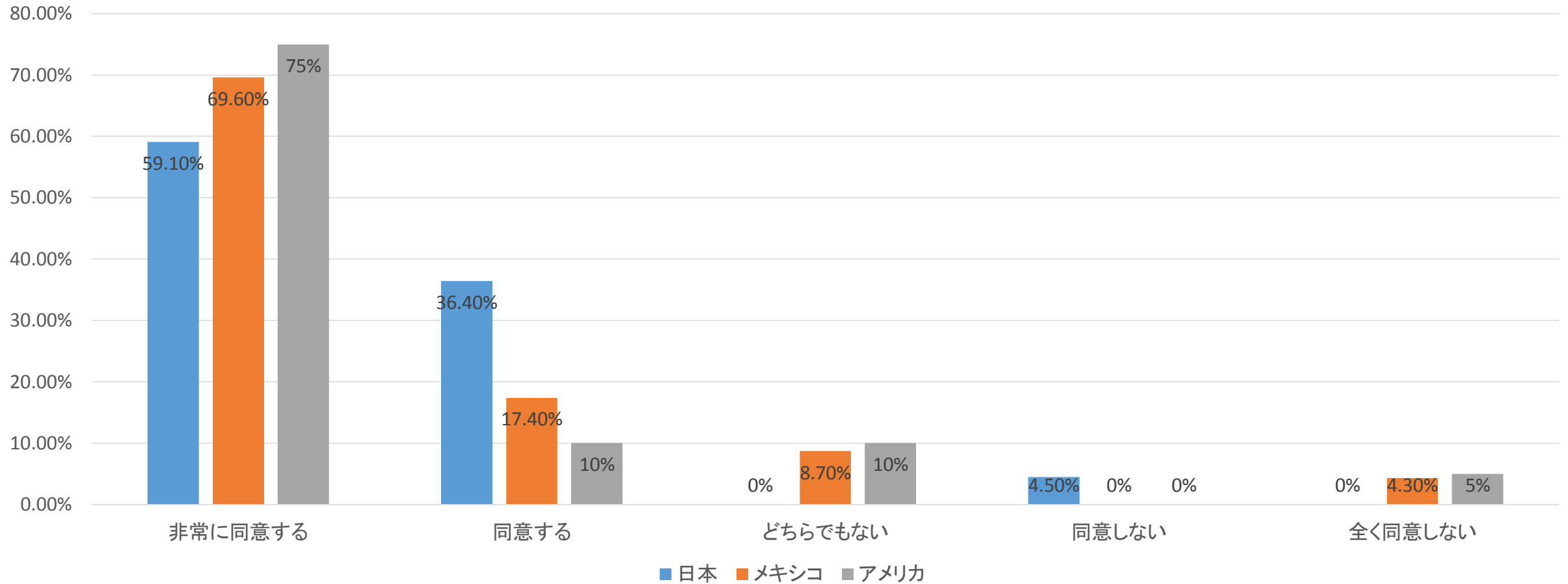
日本	メキシコ	アメリカ
国際チーム 試合のレベルが高いから。	ビッグネームの多い海外のチームがすきです。プレーの豪快さもすきです。	国際チームは、国内チームよりも優れている
国際チーム スタジアムの雰囲気が良い	国際。レベルが高いので見ていて面白い。	国際、国内はつまらないだから
国際チーム なぜならワールドカップなどで大規模に盛り上がり、わかりやすいから	国際チームは、私にとってもっと「プロ」の感じがある、そしてそのチームを見る時に興奮している。	国際。国際チームのスタイルや健康な体力や才能レベルは、日本人選手よりも優れるだから。
国内チームには地元クラブチームがあるので愛着がある	国内、メキシコのクラブを応援しなければならない	国内、自分の所に近いから
国内チームの方が、日本育ちのプレーヤーを多く見られて馴染みがあるから	国内、なぜなら全員がメキシコ人だ、外国人がいないから	幼い頃から、私の一番が好きなチームが国内チームだったから

国内のチームを選んだ人は、チームや選手に馴染みがあるかららしい。国際チームを選んだ人はプレイの高いレベルが好きなのだ。

スポーツのイベントとナショナリズム

ワールドカップの間に、私は。。。

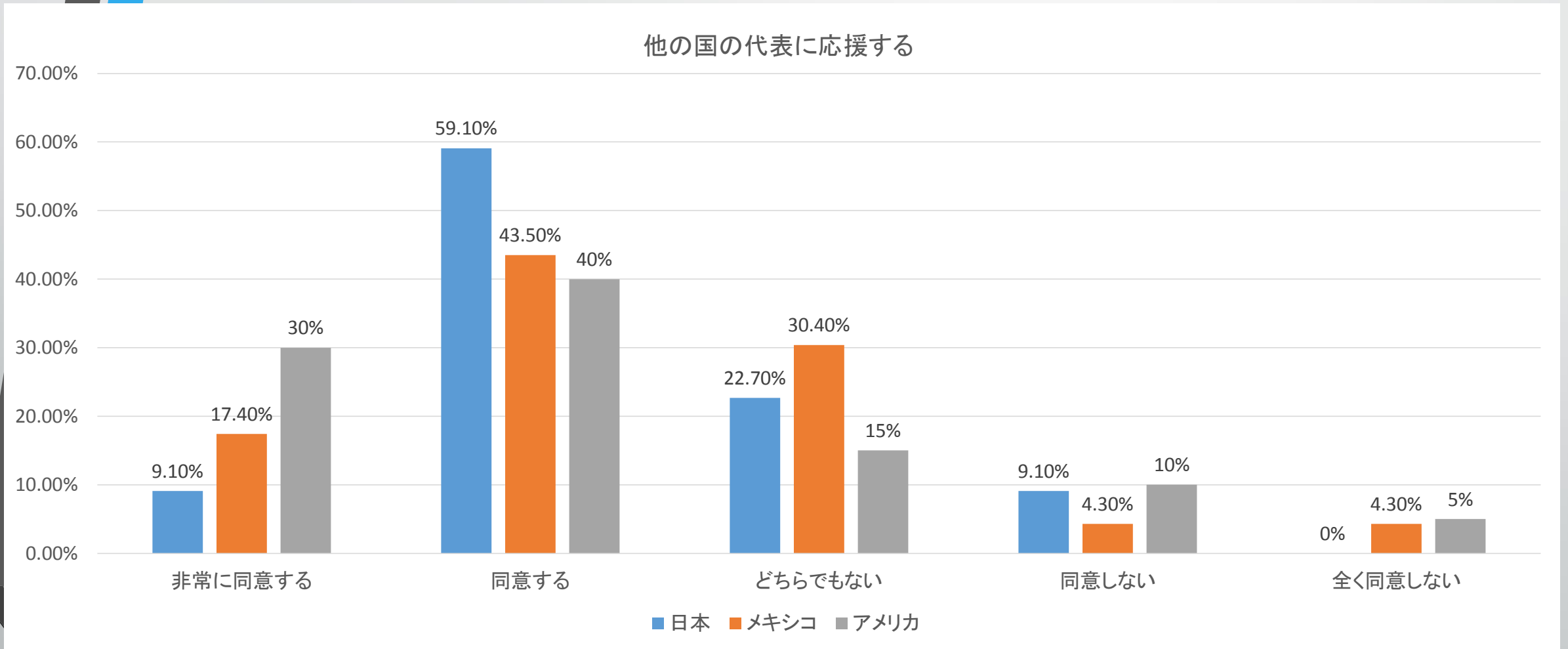
母国の代表を応援する



ワールドカップの間に、回答者の大部分は自分の国家の代表を応援している。

スポーツのイベントとナショナリズム

ワールドカップの間に、私は。。。



日本人は時々他の国の代表を応援する、一方でアメリカ人がそれはあまりしない。

スポーツのイベントとナショナリズム

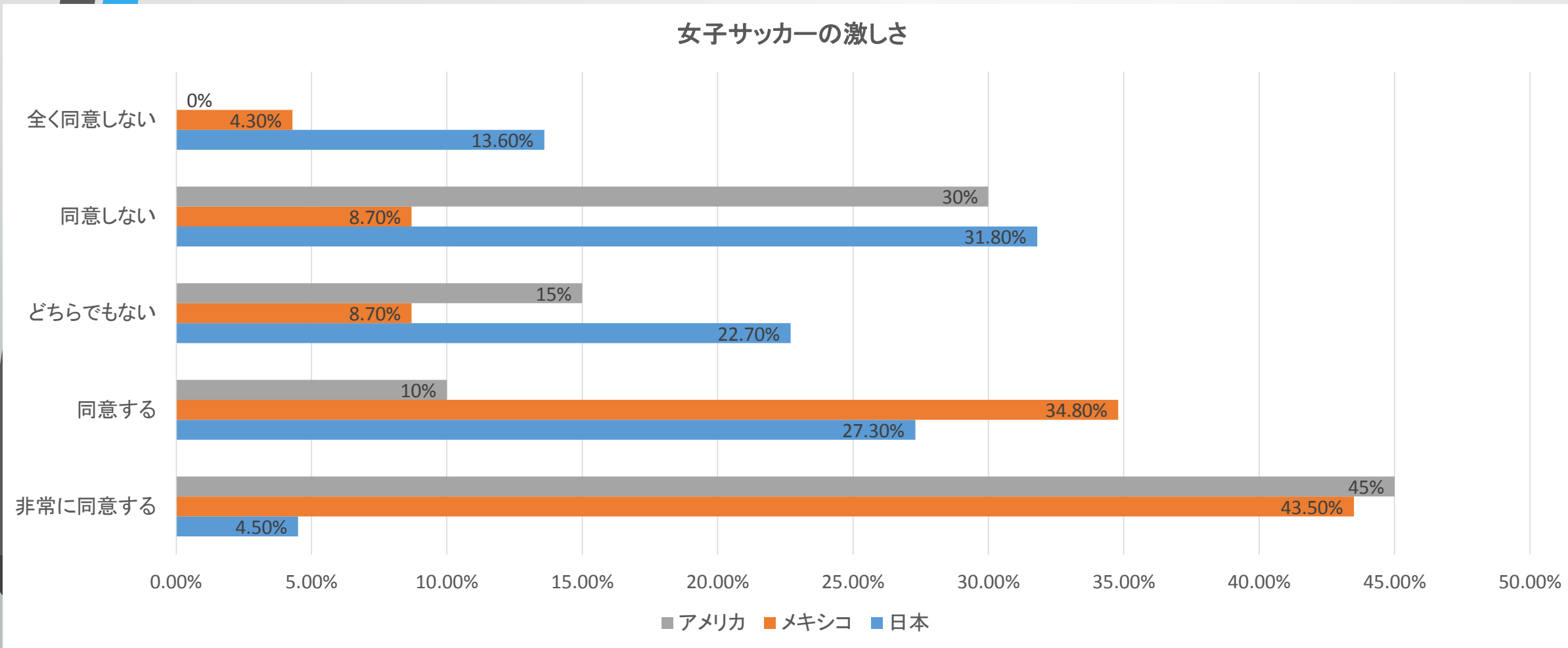
どうしてその代表を応援するのでしょうか。

日本	メキシコ	アメリカ
母国だから。	メキシコの代表だから	国家代表を応援する、なぜなら私はそこに生まれたから。さらに、選手たちはアメリカの考え方を守るために、サッカーをやる。
日本という国を背負って戦っている集団には、日本人としての 誇り がかかっているので応援したくなります。	私のチームが大好きだから	僕はアメリカ人なので、頑張れアメリカ！
日本代表：日本人だから自分の国を応援するのは当たり前だから。	国内代表を応援する、なぜなら私は国家代表に忠実だから。	アメリカ人としての誇りがかかっているので無条件に応援したくなる。
ナショナリズム が奮い立つから	私はいつでも他の国の代表に対する以上の国家代表を応援する。	ここに生まれて、ここに育って、私はそのチームに忠実だ。僕の国家代表を応援する当たり前だ。

国籍にもかかわらず、答えの中で多くの人々が「ナショナリズム」や「愛国心」そして「誇り」を語った。

サッカーと男女の役割

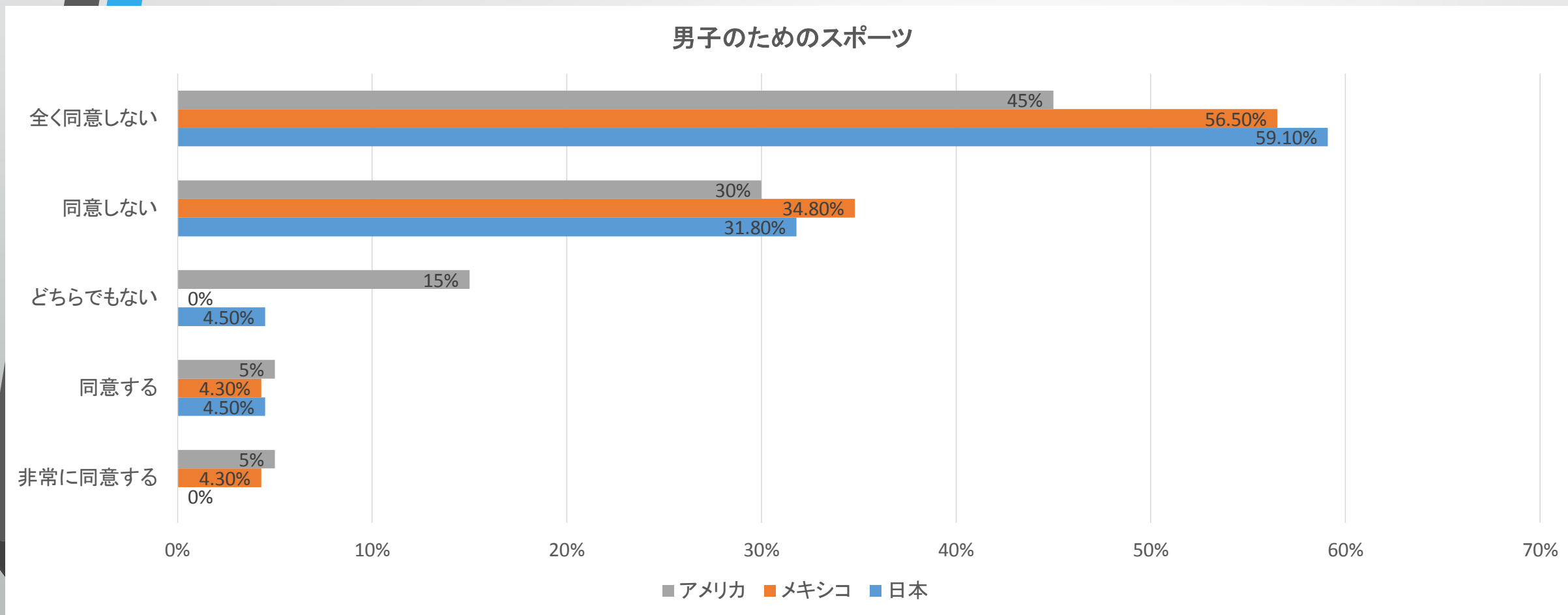
あなたは、下記の文に同意しますか。女子サッカーと男子サッカーは同じくらい激しい



日本人は、女子サッカー選手は男子サッカー選手ほど激しく戦えないとした。一方メキシコ人はほとんどが、アメリカ人は半数以上が同じくらい激しいと同意した。

サッカーと男女の役割

あなたは、下記の文に同意しますか。サッカーは男子のためのスポーツです。



しかし、日本人はスポーツとして、女子サッカーを含めることに反対しない。

様々な問題点

リーグの外国人選手の影響についてどう思いますか。

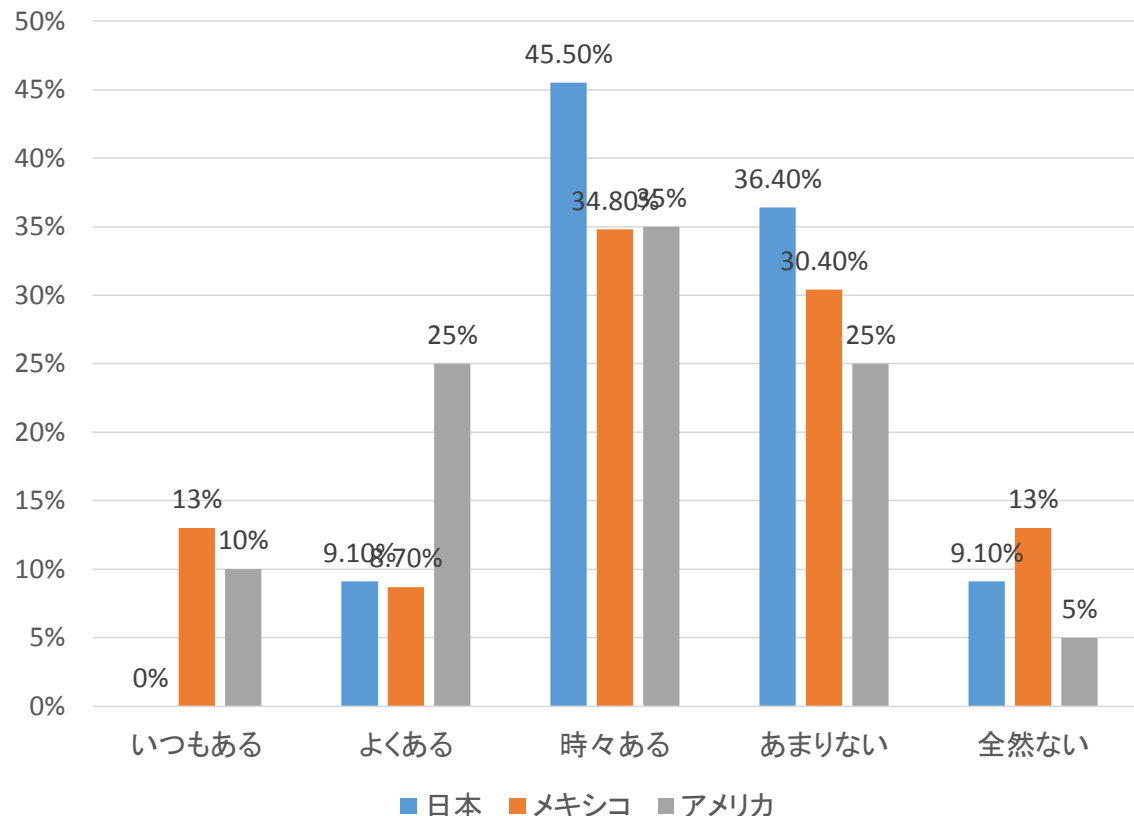
日本	メキシコ	アメリカ
日本人選手にいい刺激を与えと思う	悪い。メキシコに才能ある人多くがいる。しかし、試合の時にあまり参加しない、それは外国人のせいだ。	良い。外国人選手の包含通して才能に変化を与える。更に、アメリカ選手の集団主義を挑んでいる。
良い。なぜならお互い学び合い向上できるから	良い。メキシコでは強力なカンテラ（アカデミシステム）を存在しない。だから、好成績の選手をつくる事ができないと思う。	良い。チームに新しい考え方を寄与する。
あまり多すぎると日本のリーグとは呼べない気がするので多すぎると良くないと思います。	悪い。全部がビジネスだ。実際には、外国人の選手が上手ではない。	悪い。米国製の才能が必要だと思う。
いいと思う なぜならイケメンと言う感じで、女性から人気があるから	良い。なぜならサッカーの世界の中で境目がないから。	悪い。メキシコに才能ある人多くがいる。しかし、試合の時にあまり参加しない、それは外国人のせいだ。

日本人参加者の大部分は、外国人の影響に前向きな態度を持つ。しかし、メキシコ人やアメリカ人の参加者の意見が分割された。

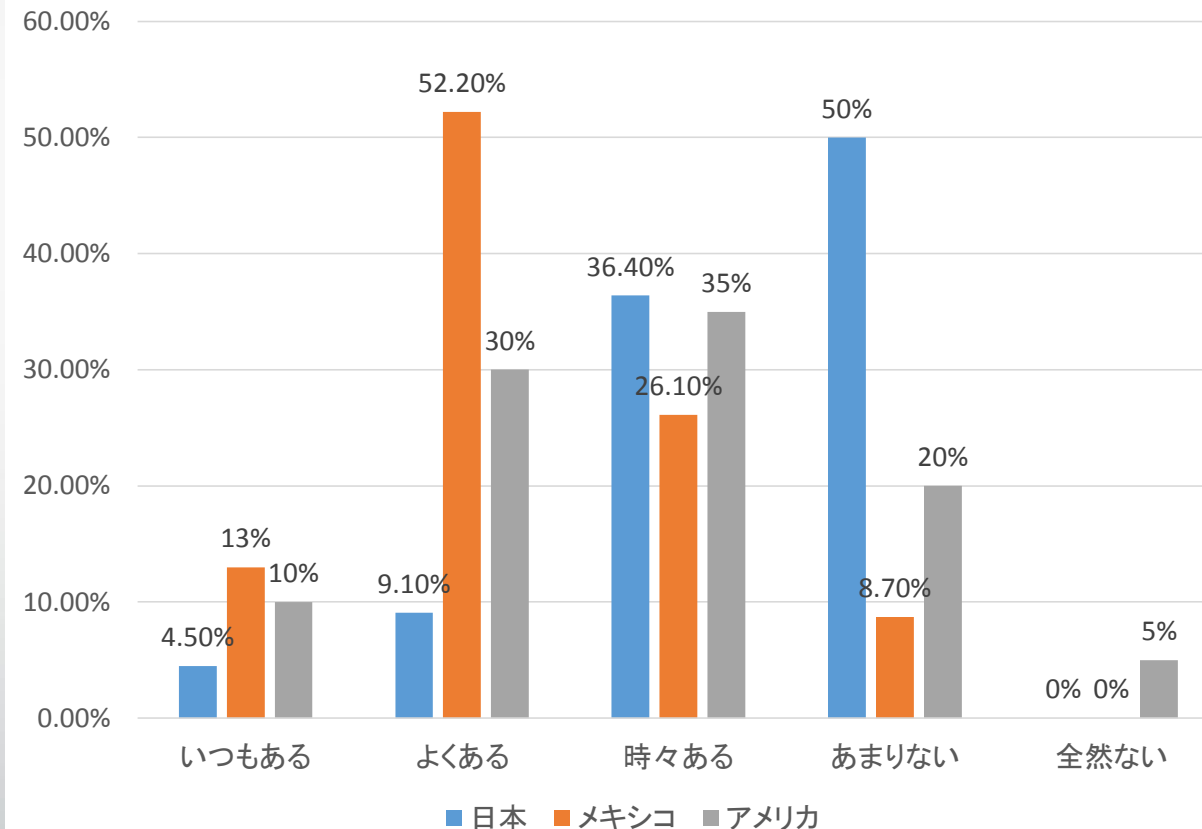
様々な問題点

現在のリーグが直面している問題がありますか。またどの程度ですか。

人種差別



暴力

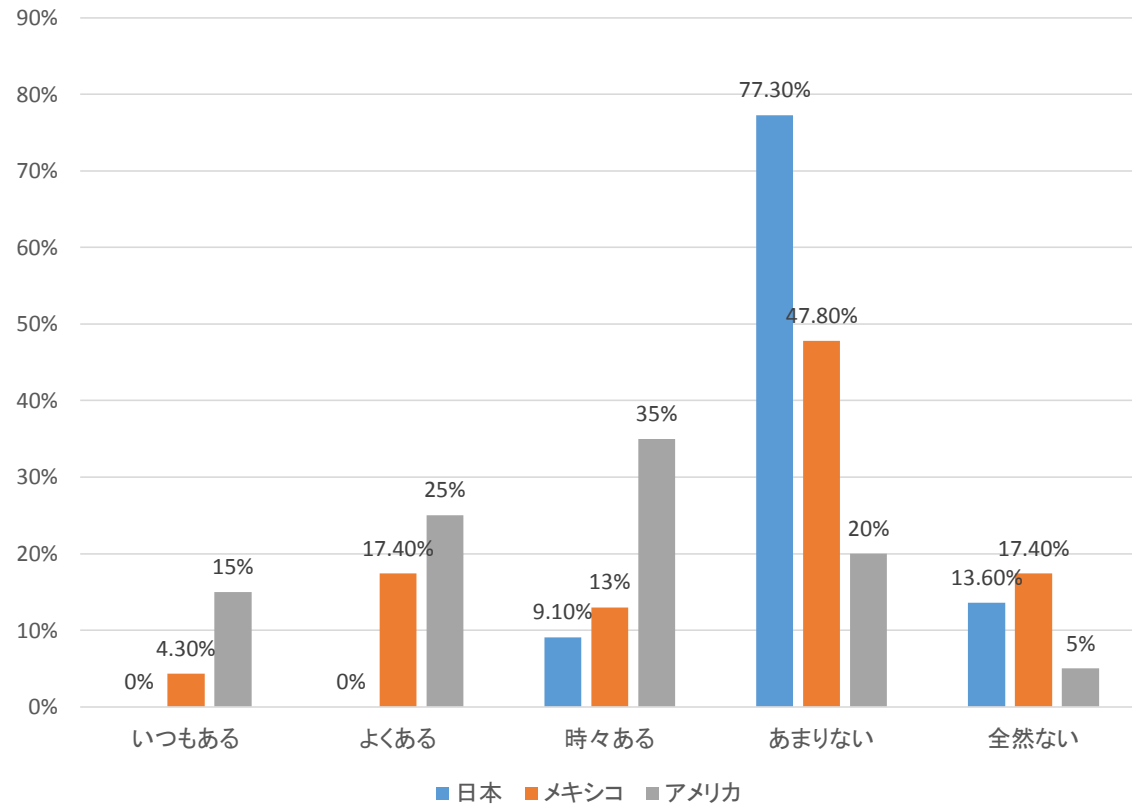


アメリカでは、人種差別が問題だと思われる一方で、メキシコでは暴力が問題のように見える。日本では、両方の問題が時々あると答えた。

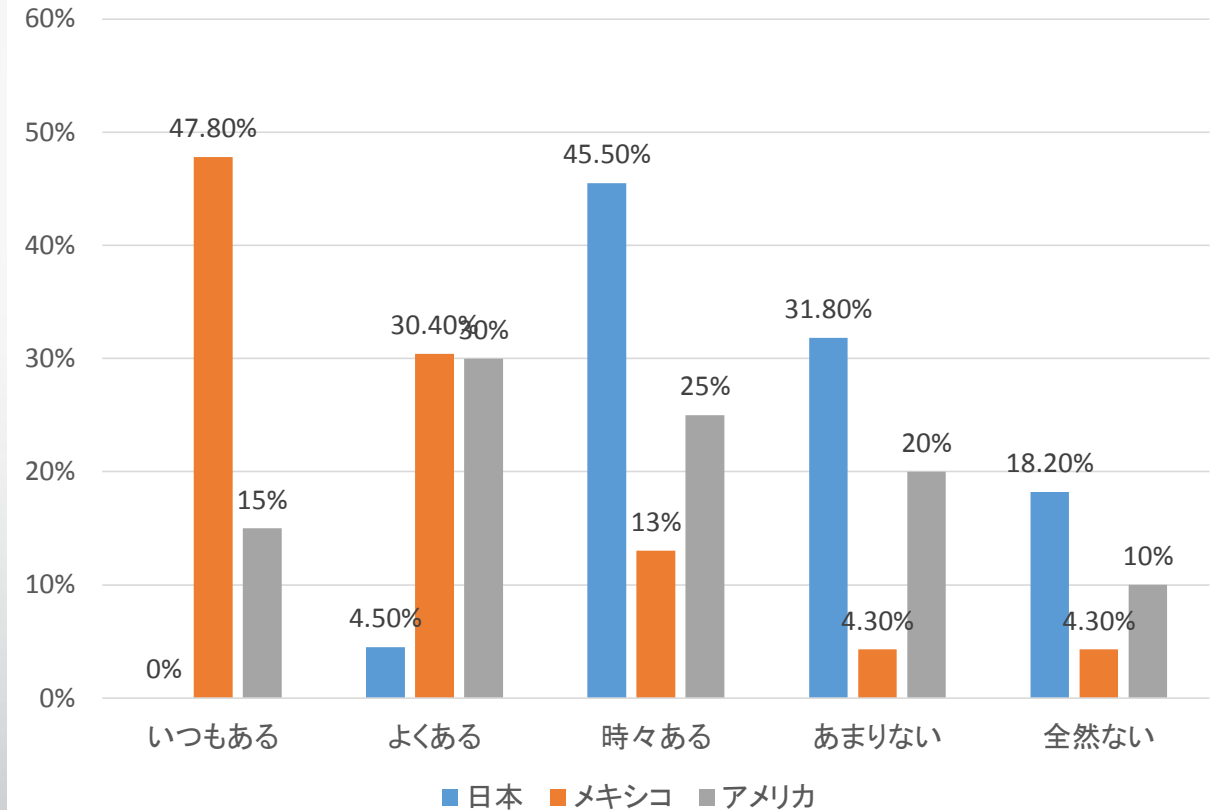
様々な問題点

現在のリーグが直面している問題がありますか。

性差別



ギャンブル



アメリカでは、性差別がよくある問題だと答え、一方で、メキシコではギャンブルが頻繁にある問題で、日本でも時々あるという結果がでた。

研究質問 2 まとめ

- 日本・メキシコ・アメリカの参加者の1番に選んだサッカー協会が一番よく使用した方法がテレビ広告だ。
 - 日本やメキシコでは、テレビのショーやアニメが2番選択だった
- 3つの国の社会とも、国際サッカーが一番好きだった
 - しかしながら、ワールドカップの間に日本人やメキシコ人そしてアメリカ人は自分の国の代表を応援する
- サッカーをより発展させるために、女子サッカーが必要だと考える。
 - しかし、日本人は、男子サッカー選手の才能は、女子選手より高いと位置づけた
 - アメリカ人の参加者の答えで、アメリカでは性差別がよくある問題であることに気づいた
- 最近、3つのサッカーリーグに外国人の人数が着実に増加している
 - 日本人参加者の大部分は、外国人の影響に前向きな態度を持つ。しかし、メキシコ人やアメリカ人の参加者の意見が分割された
- 3つの国の社会では、人種差別や暴力や性差別そしてギャンブルなどの社会問題がある
 - アメリカでは、人種差別が大問題だと思われる。一方で、メキシコでは暴力が大問題のように見える。そして日本では両方の問題が時々あるとわかった。



結論

- 私の先入観にも関わらず、日本では子供の決定に親の与えられた影響が強くないように見える。一方、メキシコの父親の影響が非常に強いと思われる。
- メキシコ社会で起こることはスポーツの世界に到達する。メキシコの腐敗したシステムのせい、多くの人々は才能が不十分だと思われる、代わりにコネのことを信じる。日本とアメリカではその問題を持っていない。
- 日本人はドラッグと接触を持っていないので、緊急解決法が必要ない。メキシコやアメリカにも、ドラッグが大問題なので、国境の両側にメキシコ政府とアメリカ政府は緊急解決法を実行しなければならない、サッカーが解決法として。
- 「自己満足」は、アメリカの個人の頭で染み付いているという考え。アメリカ人は成功するために生まれてきた、それはアンケート調査に反映している。日本社会の目標は、良い行動が全国に広めることだ、それは「フェアプレー」だと思う。
- 協会と政府の努力にもかかわらず、人種差別や暴力や性差別及びギャンブルの問題は消すことが思われない。

研究の限界点と将来の研究課題

研究に於ける限界点

- 大学生を対象にした研究のため結果を一般化するのは難しい

将来の研究課題

- 違う年齢層を考慮にいれた調査をしてみたい

参考文献

- Chubachi, Shinichi. "Soccer: J. League Targets Southeast Asia" *Asahi Shimbun* 27 September 2011. Print.
- Holley, David. "J-League Spells Success: Soccer Fast to Gain Business and Fan Appeal in Japan" *Los Angeles Times* 22 August 1994. Print.
- Light, R & Yasaki, W. (2003). Breaking the Mould: J League Soccer, Community and Education in Japan. *Football Studies*, Vol. 6. 37-50.
- Light, R & Yasaki, W. (2003). J League Soccer and the rekindling of regional identity in Japan. *Sporting Traditions*, 18(2), 31-45.
- Perez, Ivan. "En ocasiones el negocio sepulta las oportunidades" *El economista* 12 August 2014. Print.
- P.R. (2014, August 26). サッカーとバナナ人種差別を根絶しよう. 毎日新聞 Retrieved from <http://mainichi.jp/opinion/news/20140826k0000m040168000c>.
- Sterngold, James. "Tokyo Journal; Japan Falls for Soccer, Leaving Baseball in Lurch" *New York Times* 6 June 1994. Print.
- Watts, J. (1998). Soccer shinhatsubai: what are the Japanese consumers making of the J League? In D.P. Martinez (Ed.), *The worlds of Japanese popular culture: gender, shifting boundaries and global cultures* (pp. 181-201). Cambridge: Cambridge University Press.

メディア

Senett, Keph. "From the campo to the Copa: Mexico's female footballers sidelined" Retrieved from Contributoria.com on 10 March 2015.

<http://www.scholarshipstats.com/soccer.html> Retrieved on 9 May 2015

<http://www.fifa.com/classicfootball/history/news/newsid=2569439/> Retrieved on 9 May 2015

感謝の意

- 齋藤先生
- 関根先生
- 家族と友達
- その大切な人
- 日本人留学生